

実践栄養学研究セミナー2025（初級編 第1回）

日時：2025年9月21日（日）10時00分から16時30分

場所：ウインクあいち 1309 会議室

1) はじめに

セミナー参加者13名（うち1名欠席）に対し、日本栄養改善学会東海支部会支部長の後藤千穂先生より開会の挨拶がありました。今回のセミナーは愛知県栄養士会との合同開催であり、その目的や意義について説明がなされました。

2) 講義「データのまとめから報告・研究発表まで～研究の意義と研究計画の作り方～」

講師は名古屋文理大学の北川絵里奈先生が務めました。講義では、実践研究を行う意義や研究計画を立てる手順を体系的に学びました。参加者は、自身のリサーチクエスション（RQ）、研究デザイン、研究結果の予測を考えるワークに取り組み、理解を深めました。さらに、文献検索の方法に加えて、研究倫理や利益相反（COI）についての解説も行われました。また、研究成果を発表する場として、東海支部会学術総会などの案内もありました。

講義の後半では、参加者と講師が4つのグループに分かれ、それぞれが設定した RQ や研究デザインについて意見を交換し、情報を共有するグループディスカッションが行われました。



3) パソコン演習「EZR の使い方（演習）」

講師は三重大学教育学部附属小学校の上島寛之先生が務めました。無料統計ソフト EZR を用いて、実際に操作を行いながら学びました。演習は、ソフトの起動・画面の説明・データの読み込み・変数の作成や変更・データの保存・終了といった基本操作から始まりました。

その後、サンプルデータを使用してヒストグラムや散布図を作成し、グラフの色や軸尺度の変更方法も学習しました。最後には、相関係数の検定や対応のある t 検定（paired t 検定）、一元配置分散分析など、基本的な統計処理の方法について実習しました。



まとめ

セミナー終了後に実施した参加者アンケートでは、セミナー内容や時間、参加費や運営について全ての方から「満足」または「どちらかと言えば満足」との評価をいただきました。しかし、統計の用語が多く、少し難しかったという意見もあったため、次回以降にフォローしたいと考えています。

次回は10月19日（日）に開催予定で、「論文の読み方」「抄録の書き方」「発表スライドの作り方」に関する講義と演習が予定されています。

（文責 実践栄養学研究セミナー講師一同）